

平成 22 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 23 年 5 月

鳥 取 療 育 園

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	収入証紙取扱額調べ	6
8	収入事務処理状況調べ	6
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9
11	不納欠損額調べ	9
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11
14	財産に関する調べ	11
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	13
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	14
19	寄附物件の受納状況調べ	14
20	備品の処分状況調べ	14
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14
22	当該年度における業務の概要	15
23	施設の利用状況	17
24	児童給食状況調べ	18
25	児童診療に要した時間数調べ	18
26	使用料（診療費）の調定・返戻、減点状況調べ	19
27	主な施設の整備状況調べ	20
28	意見要望	20

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

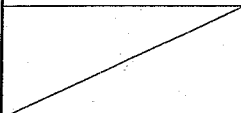
(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>鳥取療育園は、昭和50年に開園後、肢体不自由児や発達障がい児などの障がい児が地域で生活するための各種支援や保護者の子育て応援などを行っていますが、近年、特に発達障がい児に関する相談や外来が多く、新規の診察の場合は予約後2～3ヶ月後になるなど多忙を極めています。</p> <p>また、施設も狭隘化しており、外来の待合い場所が通路となってしまう場合があるなど、利用者に不都合が生じています。</p> <p>鳥取療育園のこうした状況は、県内の米子、倉吉にある同様の施設と比較して顕著であります。</p> <p>このため、鳥取療育園が適切かつ迅速に保護者や学校などのニーズに応えることができるよう医師をはじめとした人員確保や職員数の充実を図るとともに、狭隘化している施設についても、現在地周辺への移転も含めた検討を行うことが必要であります。</p>	<p>(1) 医師を初めとした人員確保や職員数の充実 発達障がいと思われる児童が増加傾向にあるのに対して、県内で発達障がいを専門的に診断できる医師が少ない状況にあるため、鳥取療育園等の専門機関に診察依頼が集中する傾向にある。そのため、職員数については国の基準以上の職員を配置し、かつ、必要に応じて見直しを行っており、今後も子ども発達支援課と連携のもと、利用者のニーズに対応できる体制の充実を図っていく。</p> <p>また、県（子ども発達支援課）においては、県内における発達障がいを診断できる医師の掘り起こしや医療機関のネットワーク化等の、地域で対応できる医師の層を厚くする取り組みを行っており、今後もその取り組みを充実させ、医師の確保にも努めることにより、身近な地域で対応できる体制を整えていくことにしている。</p> <p>(2) 狭隘化している施設についての現在地周辺への移転を含めた検討 これまでの利用者のニーズに応えるかたちで、順次施設・設備の改善を行ってきた。 H16…増改築し、理学療法室、作業療法室及び言語聴覚室を新設 H17…外来診療開始 H19…分室を設置し、児童デイサービスの実施場所を移転</p> <p>しかし、増加するニーズに対応できるだけの施設・設備にはなっていない面もあるので、利用者の意見も聞きながら、施設・整備のあり方について子ども発達支援課と連携のもと検討していく。</p>

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
	企画外来係	肢体不自由児施設として、上肢、下肢又は体幹の機能の不自由な児童を治療するとともに、独立生活に必要な知識技能を与える事務を所掌する。
	通園係	
	地域支援係	

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	
定員		10	10	7	7	1	1	18	18	
現員		(2) 12	(2) 13	() 7	() 6	() 1	() 1	(3) 21	(2) 20	事務職員 〔当該年度〕 育児休業2(保育士) 〔23.4.1現在〕 育児休業2(保育士)
過不足(Δ)		2	3	0	Δ1	0	0	3	2	技術職員 〔23.4.1現在〕 欠員1(理学療法士)
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	1	0	2	2	3	3	医療事務1、調理員2 運転士1

5 役付職員の調べ

(平成23年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
園長	前岡 幸憲	6	1	
次長兼通園係長	田中 茂子	0	1	通算：5年1月
主幹	(兼) 中島 恭司	3	1	本務：東部総合事務所 県民局企画総務課課長補佐
主幹	(兼) 奥田 雅裕	0	1	出納員 本務：東部総合事務所 県民局企画総務課主幹

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																
鳥取療育園費 決算見込額 20,954千円 (財源内訳) その他 20,954千円	ア 目的及び事業の実施状況 (7) 目的 本園は肢体不自由児通園施設として開所されたが、近年の支援ニーズの変化により、自閉症等発達障がいや言語障がい等に対する支援を行う東部地区療育の拠点施設としての役割も担うため、本来の「肢体不自由児通園事業」に加えて在宅の障がい児・者への相談支援、療育、地域の支援施設への支援等を行っており、現在では、①肢体不自由児通園施設 ②児童デイサービス事業所 ③医療機関(診療所) ④地域療育支援事業の支援機関の役割をもつ施設となっている。																
障がい児等地域療育支援事業 決算見込額 1,100千円 (財源内訳) 一般財源 1,100千円	(4) 事業の実施状況(12/31現在) ① 肢体不自由児通園 親子通所による肢体不自由や運動発達に遅れのある未就学児への療育及び保護者への育児支援 <table border="1" data-bbox="475 853 1501 1010"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="3">[月～金] 9:30～14:00</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>28</td> <td>延べ人数</td> <td>1,019</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保育士、児童指導員、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師</td> </tr> </table>	実施日	[月～金] 9:30～14:00			実人数	28	延べ人数	1,019	スタッフ	医師、保育士、児童指導員、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師						
実施日	[月～金] 9:30～14:00																
実人数	28	延べ人数	1,019														
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師																
	② 児童デイサービス 親子通所による自閉症等広汎性発達障がいのある未就学児への療育及び保護者への育児支援 <table border="1" data-bbox="475 1144 1501 1279"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="4">[火・木] 9:30～11:00、14:30～16:00</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>134</td> <td>実人数</td> <td>18</td> <td>延べ人数</td> <td>371</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="4">保育士、児童指導員、OT、ST、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)</td> </tr> </table>	実施日	[火・木] 9:30～11:00、14:30～16:00				実施回数	134	実人数	18	延べ人数	371	スタッフ	保育士、児童指導員、OT、ST、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)			
実施日	[火・木] 9:30～11:00、14:30～16:00																
実施回数	134	実人数	18	延べ人数	371												
スタッフ	保育士、児童指導員、OT、ST、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)																
	③ 外来診察 【小児科外来診察】 予約制による発達外来 <table border="1" data-bbox="475 1413 1501 1536"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="2">[月・金] 8:30～10:00 [火・木] 14:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td colspan="2">1,800</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="2">医師、看護師、PT、OT、ST</td> </tr> </table>	実施日	[月・金] 8:30～10:00 [火・木] 14:00～17:00		延べ人数	1,800		スタッフ	医師、看護師、PT、OT、ST								
実施日	[月・金] 8:30～10:00 [火・木] 14:00～17:00																
延べ人数	1,800																
スタッフ	医師、看護師、PT、OT、ST																
	【装具クリニック】 肢体不自由、扁平足等がある児童の体の変形予防及び運動能力向上のための装具の作成等 <table border="1" data-bbox="475 1671 1501 1787"> <tr> <td>実施日</td> <td>[水] 13:00～16:00</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>医師、PT</td> </tr> </table>	実施日	[水] 13:00～16:00	延べ人数	132	スタッフ	医師、PT										
実施日	[水] 13:00～16:00																
延べ人数	132																
スタッフ	医師、PT																
	【のびのび療育相談】 発達の遅れや運動発達上療育を要する乳幼児への療育及び保護者への育児支援 <table border="1" data-bbox="475 1883 1501 2007"> <tr> <td>実施日</td> <td>[水] 10:00～11:30</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>33</td> <td>延べ人数</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保育士、児童指導員、PT、OT、看護師</td> </tr> </table>	実施日	[水] 10:00～11:30	実施回数	33	延べ人数	112	スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、看護師								
実施日	[水] 10:00～11:30																
実施回数	33	延べ人数	112														
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、看護師																

事業名	概要	要																																																																												
	<p>【わくわく療育相談】 口蓋裂や構音障がいのある未就学児への発音練習を含む療育及び保護者への育児支援</p> <table border="1"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="3">〔第2・4水〕15:00～16:00</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>9</td> <td>延べ人数</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、ST、保育士</td> </tr> </table> <p>【きらきら療育相談】 筋ジストロフィーの児童への療育及び保護者の育児支援</p> <table border="1"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="3">年4回</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>4</td> <td>延べ人数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、PT</td> </tr> </table> <p>【育てにくい子のごきげん子育て教室】 AD/HD児（幼児～小学校低学年）等の保護者のペアレント・トレーニング</p> <table border="1"> <tr> <td>実施回数</td> <td>22</td> <td>実人数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、児童指導員</td> </tr> </table> <p>※AD/HD…注意欠陥・多動性障がい</p> <p>④ 地域療育支援</p> <p>【訪問療育】 家庭、保育所等を訪問して行う療育支援</p> <table border="1"> <tr> <td>実施件数</td> <td colspan="3">52</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、看護師</td> </tr> </table> <p>【施設支援】 保育所、学校等に出向いての技術指導</p> <table border="1"> <tr> <td>実施回数</td> <td>61</td> <td>対象人数(延)</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、看護師</td> </tr> </table> <p>【普及啓発・研修】 〈出前講座〉保育所・幼稚園を対象にした発達障がいに関する講座</p> <table border="1"> <tr> <td>実施回数</td> <td>14</td> <td>受講人数(延)</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、児童指導員</td> </tr> </table> <p>※1施設2回実施 第1回テーマ：「特別な配慮を要する子どもを園でどう育てるか」 第2回テーマ：「広汎性発達障がいの特性を持つ一人の子ども」</p> <p>〈地域療育セミナー〉関係機関職員、保護者等を対象にした研修会</p> <table border="1"> <tr> <td>実施回数</td> <td>1回(3月4日開催)</td> <td>受講人数</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保健師（東部総合事務所福祉保健局）、PT、児童指導員</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td colspan="3">充実した地域生活を送るために～地域のつながり～</td> </tr> </table> <p>〈支援ツール研修会〉関係機関職員を対象にした発達障がい児の支援方法に関する研修会</p> <table border="1"> <tr> <td>実施回数</td> <td>4</td> <td>受講人数(延)</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">保育士、児童指導員</td> </tr> </table>	実施日	〔第2・4水〕15:00～16:00			実施回数	9	延べ人数	25	スタッフ	医師、ST、保育士			実施日	年4回			実施回数	4	延べ人数	6	スタッフ	医師、PT			実施回数	22	実人数	6	スタッフ	医師、児童指導員			実施件数	52			スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、看護師			実施回数	61	対象人数(延)	74	スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、看護師			実施回数	14	受講人数(延)	178	スタッフ	医師、児童指導員			実施回数	1回(3月4日開催)	受講人数	82	スタッフ	医師、保健師（東部総合事務所福祉保健局）、PT、児童指導員			テーマ	充実した地域生活を送るために～地域のつながり～			実施回数	4	受講人数(延)	36	スタッフ	保育士、児童指導員			
実施日	〔第2・4水〕15:00～16:00																																																																													
実施回数	9	延べ人数	25																																																																											
スタッフ	医師、ST、保育士																																																																													
実施日	年4回																																																																													
実施回数	4	延べ人数	6																																																																											
スタッフ	医師、PT																																																																													
実施回数	22	実人数	6																																																																											
スタッフ	医師、児童指導員																																																																													
実施件数	52																																																																													
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、看護師																																																																													
実施回数	61	対象人数(延)	74																																																																											
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、看護師																																																																													
実施回数	14	受講人数(延)	178																																																																											
スタッフ	医師、児童指導員																																																																													
実施回数	1回(3月4日開催)	受講人数	82																																																																											
スタッフ	医師、保健師（東部総合事務所福祉保健局）、PT、児童指導員																																																																													
テーマ	充実した地域生活を送るために～地域のつながり～																																																																													
実施回数	4	受講人数(延)	36																																																																											
スタッフ	保育士、児童指導員																																																																													

事業名	概	要
	<p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>(7) 肢体不自由児通園事業においては、グループごとに利用日を設定していたため最大週2回までしか利用できなかったが、平成22年度からは利用者が個々の状況に応じていつでも通園できる体制に変更した。</p> <p>また、保育所等並行通園先への訪問や見学の受入れを適宜行い、並行通園先と支援目標を共有するとともに、目標に沿って設定する通園児個々の活動計画がより具体的なものになるように努めた(例:「保育所で移動手段として車いすを利用できるようにする。」という目標を達成するため、通園活動の中で車いすを自分で操作することを取り入れるとともに、本人にあった車いすの調整を外来において計画的に行えるようにする。)</p> <p>(4) 児童デイサービス事業においては、利用児童の多様化に対応できるよう活動プログラムの改編に取り組んだ。また、保護者勉強会の内容の充実(当園でテキストを作成し、支援ツール講座を実施)を図った。</p> <p>※支援ツール… 幼児が自分からわかって動けるように、また持っている力を発揮できるようにするための道具(例:「わかる」と「てきぱき動ける」ことを身につけるためのツールとして、何をすればよいかを容易にわかる写真や絵を使ったスケジュール表の作成)</p> <p>(4) 外来診療においては、継続する個別訓練の実施に当たり、各スタッフが随時個々に医師と相談し、訓練の頻度や内容を確認して来たが、平成22年度からは訓練の実施内容と経過が一目で分かるシートを作成の上、週1回関係スタッフが集まり、医師が必要な指示をまとめた的確に行えるようにするとともに、関係スタッフ間で今後の訓練の内容や方向性の共有化を図られるようにした。</p> <p>(1) 地域療育支援事業においては、関係機関と連携した療育サービスの提供を推進するため、平成22年度に初めて保育所・幼稚園への出前講座を実施したほか、発達障がい児に関わる関係機関の職員を対象に支援ツール研修会を開催した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>肢体不自由児通園の利用体制の変更により、利用者から「家の都合や仕事の都合に合わせてよ。」という意見があったほか、児童デイ保護者勉強会で新たに取扱ったテーマを家庭で取り組んでいただいているなど、療育サービスの一層の充実が図られた。</p> <p>また、施設支援の実施や研修会の開催等を通じ、地域療育に携わる関係機関職員の資質向上を図るとともに、それぞれの機関との情報交換を行い、地域療育そのものの水準を高めていくことを推進できた。</p> <p>エ 課題</p> <p>(7) 専門性の充実及び維持</p> <p>① 各事業に医師の介入が必要とされる部分が多く、総合療育センターの医師の協力を得て事業を実施しているが、外来診療に3か月待ちの状態が続いている。このため、新規の診療希望への対応を検討する会議を週1回開催し、診療の必要性・緊急性を見極めを行い、緊急性のある場合は、やりくりして診療を行っているが、今後とも診療希望に対し適切に対応できる体制を構築していく必要がある。</p> <p>② 自閉症療育へのニーズが増加傾向にある中、カウンセリング等保護者を含めた幅広い支援、質の高い支援を行うための心理職の配置も今後検討していく必要がある。</p> <p>(4) 関係機関との連携による地域での支援体制強化と施設の役割の検証</p> <p>地域での支援体制強化のため、地域のニーズと園が持っているサービスとの整合を図るとともに、巡回相談している他の機関との連携のあり方を検討する必要がある。</p> <p>(4) 施設の狭隘化への対応</p> <p>利用者のニーズに応えられるよう増築等を行って来たが、近年増加している発達障がいに関するニーズに十分に対応できる施設・設備になっていない面もある(外来診療の待合場所がないため通路を利用している。外来診療に来た多動性・衝動性(動き回る)の発達障がい児と車いすに乗った通園児の動線が交わることがある。児童デイの機能訓練室は集団活動をする上で狭すぎるなど。)</p> <p>施設・設備の改善を図る必要がある。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成22年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
民生使用料	児童福祉施設 使用料		16	3,136,071	3,136,071	0	0	児童福祉法等	診療報酬
			349	4,310,926	4,220,946	0	89,980	障害者自立支援法等	施設使用料 収入未済分はH23. 1.12、H23.1.24 及びH23.1.27収入 済み
		計(節)	365	7,446,997	7,357,017	0	89,980		
		目計	365	7,446,997	7,357,017	0	89,980		
		合計	365	7,446,997	7,357,017	0	89,980		

(3) 手数料

(平成22年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
民生手数料	児童福祉 手数料	児童福祉施設 手数料	30	364,340	362,350	0	1,990	障害者自立 支援法	診断書料等 収入未済分はH23 1.11収入済み
			30	364,340	362,350	0	1,990		
		計(節)	30	364,340	362,350	0	1,990		
		目計	30	364,340	362,350	0	1,990		
		合計	30	364,340	362,350	0	1,990		

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成28年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
弁償金	弁償金	2	40,656	40,656	0	0	児童福祉法	
		2	40,656	40,656	0	0		
計(節)		2	40,656	40,656	0	0		
目計								
雑入	利用者負担軽減額	5	92,796	92,796	0	0	障害者自立支援法	
	障害者福祉サービス費等支払額	8	10,330,042	10,330,042	0	0	障害者自立支援法	
	施設実習費	1	11,000	11,000	0	0	鳥取療育園実習生受入事業実施要綱	
	医師意見書料	3	15,750	15,750	0	0	障害者自立支援法	
	公文書コピー代	1	930	930	0	0	個人情報保護条例	
計(節)		18	10,450,518	10,450,518	0	0		
目計		18	10,450,518	10,450,518	0	0		
合計		20	10,491,174	10,491,174	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成22年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
児童福祉施設使用料	682,810	医療費一部負担金
児童福祉施設手数料	352,400	診断書料等
雑入	930	公文書コピー代
合計	1,036,140	

イ つり銭の状況
つり銭の有無 有 有 つり銭の額(円) 30,000
(平成22年12月31日現在)

9 収入未済額調べ

(平成22年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目	区分	前年度から繰り越した額	この収入の左の額	不納欠損額	収入未済額A	収入未済額の区分		現年度分	収入未済額B	収入未済額A+B	未収理由
						18年度以前	19年度・20年度				
民生用材料	児童福祉施設使用料	0	0	0	0	0	0	7,446,997	7,357,017	89,980	収入年月日 H23.1.12、 H23.1.24、 H23.1.27
	計(節)	0	0	0	0	0	0	7,446,997	7,357,017	89,980	
民生用材料	児童福祉施設手数料	0	0	0	0	0	0	364,340	362,350	1,990	収入年月日 H23.1.11
	計(節)	0	0	0	0	0	0	364,340	362,350	1,990	
目計		0	0	0	0	0	0	7,811,337	7,719,367	91,970	
合計		0	0	0	0	0	0	7,811,337	7,719,367	91,970	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目			債権管理 事務取扱 要領の作 成の有無	取り組み状況	取り組み効果
目	節	細節			
民生 使用料	児童福祉施 設使用料		無	・口座引き落としへの移行を依頼 ・家庭状況把握に合わせた督促 (支払者の変更等)	・滞納の減 ・納入を約束してもらった

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成22年12月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 領等を含む)	備考
児童福祉 総務費	20,000					0		
支出金額が10万 円未満のもの						20,000		
目 計	20,000					20,000		
児童福祉 施設費	75,000					0		
支出金額が10万 円未満のもの						49,900		
目 計	75,000					49,900		
合 計						69,900		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成22年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考
			面積 (m ²)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (m ²)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	
行政財産	鳥取療育園	鳥取市江津260外	928.97	148,922,585			0	0	928.97	148,922,585	
計			928.97	148,922,585			0	0	928.97	148,922,585	
合計			928.97	148,922,585			0	0	928.97	148,922,585	

ウ 山林 該当なし

エ 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成22年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便 はがき	円 14,312	円 54,750	円 57,050	円 12,012	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイド カード	0	0	0	0	
合 計	14,312	54,750	57,050	12,012	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 債 権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	借受期間	契約の状況		借受先		備考
							単価	借料(円)	住所	氏名	
土地	宅地	鳥取療育園	鳥取市江津260	349.85	有	S54.7.20 無期限		0	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院 院長 武田 博		
合計								0			

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

(平成22年12月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度			備考
					稼働 日数	(1ヶ月平均) 走行キロ数	修理費等	
マイクロ バス	H16	鳥取 200さ 265	H16.3.31	km 53,340	日 105	(127) km 1,274	円 215,258	3ヶ月点検 25,943円 タイヤ交換 170,100円 バックブザー交換 19,215円
合計		1台					215,258	

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

療育園個別事項

2.2 当該年度における業務の概要

(1) 肢体不自由児通園

本園は肢体不自由や運動発達の遅れのある概ね就学前の乳幼児を対象に保護者の同伴通園により療育指導・相談支援を行っている。児童の中には重度の知的障がいと重度の肢体不自由を重複しており、医学的な合併症により日常的に医療ニーズが高い超重症心身障がい児とよばれる児童も通っている。

また、従来障がいを治療する（改善する）といういわゆる「医療モデル療育」の支援を行ってきた。しかし、近年の障がいがあっても地域で自立した生活がしたいというニーズに対応するため、地域で生活していく力を育てていく「生活モデルの療育」を行っているところである。

このため、保育活動を中心にして、健康面や運動機能面、食事などの日常生活動作に対する支援の他、喜びや楽しみ、興味・関心も育み、児童の全体的な発達支援を行うため、保護者に対して育児相談や技術指導等を行うとともに、保育所や幼稚園との並行通園を行っている児童への適切な支援が行えるよう、保育所等に対する専門的な支援も行っている。

「生活モデルの療育」を集団保育で行っているが、個々に必要な支援を大切にし個別の支援計画書を作成して支援を行っている。

個別の支援検討会は基本年2回実施しており、各職種の職員が行った評価を含めて現在の状況を整理し、今後の目標や支援方法を各関係者が検討した上で保護者と協議をして方針を定めている。

検討会には、保育所等、各関係機関も参加し、支援の共通認識を図っている。

(2) 地域生活支援

在宅生活支援のニーズの高まり、多様化に対応するため、本来の肢体不自由児通園施設としての役割だけでなく、身近な地域で相談や支援ができる東部地区の拠点施設となるよう取り組んでいる。

ア 児童デイサービス

個別及び小集団により、自閉症など発達障がいのある就学前の幼児と保護者に、地域で生活しやすくなるための支援を行っている。

イ 外来診療

○発達外来

平成17年度に常勤の医師1名（園長）が配属されたことから外来診療を開始している。

外来診察開始による診断・相談ニーズの顕在に伴い、受診者・相談者が増え続け、受診待機が出ている状態がある。

○装具クリニック

補装具に関する相談や作成を行っている。

○療育相談

「運動発達に遅れのある子ども」だけではなく、「コミュニケーションに遅れのある子ども」、「発音に遅れのある子ども」、「口蓋列や構音障害のある未就学児」、「筋ジストロフィーの児童」の小集団活動を中心とした療育の充実を図っている。

○育てにくい子のごきげん子育て教室

AD/HD児（幼児～小学校低学年）等の保護者を対象にペアレント・トレーニングを行っている。

ウ 障がい児等地域療育支援事業

療育支援施設として次の取り組みを行っている。

○地域療育担当支援員設置事業

地域療育担当支援員が、相談のあった障がい児に対して各関係機関との連携・調整をとりながら、対象児のニーズに即した支援を行うよう努めている。

○施設支援一般指導事業

医師、保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等多職種の職員が地域の保育所や幼稚園等に出向いて指導している。

○訪問療育等指導事業

医師や理学療法士・作業療法士等が障がい児の家庭や学校等に出向き、障がい児への支援に加えその保護者に対しても日常生活の中で可能な療育や介助の仕方を助言している。

○発達障がいに関する出前講座の開催

保育所・幼稚園から希望を取り、医師及び児童指導員が保育所・幼稚園に出向いて発達障がいに関する講座を開催している。

【平成22年度開催状況】

実施施設数	9施設
内 容	(1施設2回実施) 第1回テーマ：「特別な配慮を要する子どもを園でどう育てるか」 第2回テーマ：「広汎性発達障がいの特性を持つ一人の子ども」

○「地域療育セミナー」の開催

セミナーにより地域療育に携わる関係機関職員の資質向上を図るとともに、地域療育そのものの水準を高めていくために実施している。

【平成22年度開催状況】

開催日	平成23年3月4日(金)
開催場所	東部総合事務所福祉保健局 2階会議室
受講人数	82人
テーマ	「充実した地域生活を送るために～地域のつながり～」 [内容] (1)東部圏域における母子保健のつながり ～発達クリニックからみた母子保健体制～ (2)[鳥取療育園の実践報告①] 園とともに ～並行通園児への支援～ (3)[鳥取療育園の実践報告②] 園生活を支援する ～出前講座の取り組み～ (4)つながるときに大切なこと ～発達支援にかかわる機関の役割を考える～

○「支援ツール研修会」の開催

関係機関の職員を対象に発達障がい児の支援方法に関する研修会を開催している。

【平成22年度開催状況】

開催回数	5回
定 員	10人
開催場所	鳥取療育園外来分室

23 施設の利用状況

(1) 月別入退園調べ

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	前年度 3月末 現在	入退園の状況													入退園 合計	年度末 現在
		入退園 の 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
男	13	入園	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	12
		退園	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
女	11	入園	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	12
		退園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
計	24	入園	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4	24
		退園	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4	

(2) 市町村別在園児童数

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	鳥取市	八頭町									合計
男	9	3													12
女	12	0													12
計	21	3													24

(3) 年齢別在園児童数

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	合計	
男	4	1	3	1	3	0														12
女	3	2	3	1	1	2														12
計	7	3	6	2	4	2														24

(4) 児童退園の状況

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	施設入所	保育所入所	その他	合計
男	0	2	1	3
女	1	0	0	1
計	1	2	1	4

(5) 障害等級別年齢別児童数

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	1 級	2 級	3級以下	手続き中	未所持	計
0～3歳	4	3	5	0	4	16
4～6歳	6	2	0	0	0	8
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

(6) 病類別・年齢別児童数

(単位：人) (平成22年12月31日現在)

区分	脳性まひ	内反足症	遺伝子病・ 染色体異常	筋ジストロフ イー	その他	計
0～3歳	4	0	9	1	2	16
4～6歳	5	0	2	0	1	8
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

2.4 児童給食状況調べ

(単位：食)

(平成22年12月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼食	40	58	82	78	84	73	85	89	88				677

2.5 児童診療に要した時間数調べ

(単位：時間)

(平成22年12月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師	79.5	83	109	109	109	110.5	106.5	106.5	110.5				923.5
理学療法士	31.5	31.5	37	34	48	32	32	40.5	34				320.5
看護師	4	5	3.5	2.5	5	5	4.5	4	8.5				42
作業療法士	13	14.5	9	10	14	11	8	13	15				107.5
言語聴覚士	15.5	16.5	22	22	21	22	21	21	22				183
計	143.5	150.5	180.5	177.5	197	180.5	172	185	190				1576.5

27 主な施設の整備状況調べ

該当なし

28 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし